

海外国債ファンド(1年決算型)

設定日 2008年9月30日
 決算日 原則 4月15日

アセットマネジメントOne

<投資信託約款変更のお知らせ>

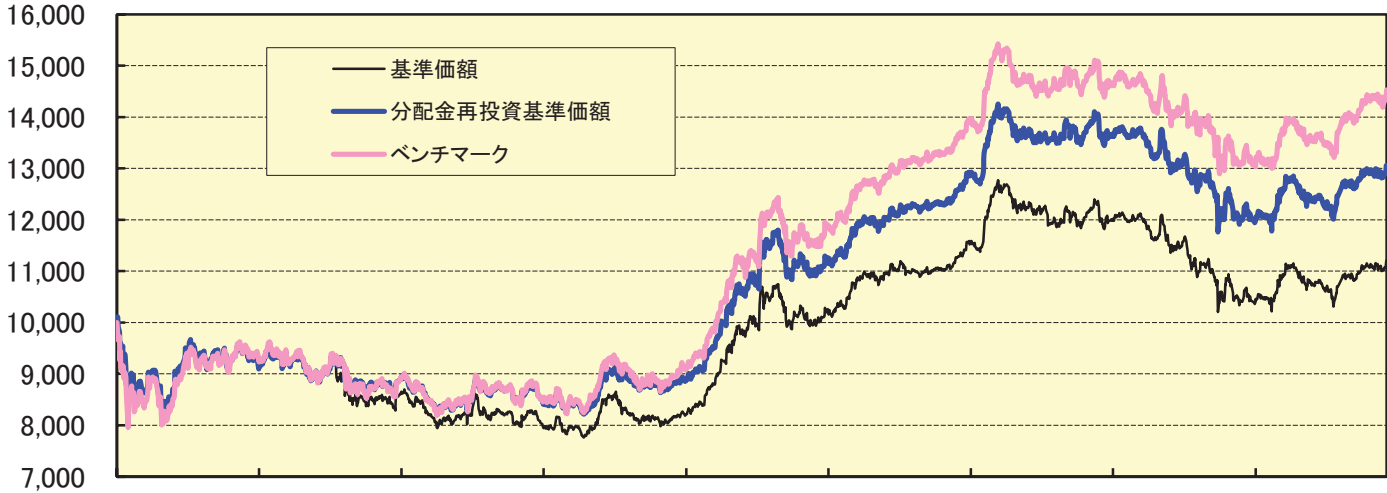
信託期間を延長し、償還日を2018年4月16日から2023年4月17日に変更しました。
 (効力を生ずる日 2017年7月15日)

追加型投信/海外/債券

2017年8月31日現在

基準価額と市況の推移(2008年9月30日~2017年8月31日)

(設定日前日を10,000として指数化)



2008/9/29 2009/9/29 2010/9/29 2011/9/29 2012/9/29 2013/9/29 2014/9/29 2015/9/29 2016/9/29

・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
 ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

基準価額

	8月末	7月末
当ファンド	11,209円	11,025円

8月の基準価額の高値・安値

	高値 (日付)	安値 (日付)
当ファンド	11,209円 (31日)	11,001円 (18日)

資産構成

内訳	2017/8/31	2017/7/31
海外国債マザーファンド	99.4 %	99.4 %
その他資産	0.6 %	0.6 %
純資産	71 百万円	70 百万円
元本	63 百万円	64 百万円

実質組入比率

内訳	2017/8/31	2017/7/31
国債証券	97.7 %	97.7 %
銘柄数	41 銘柄	41 銘柄

分配金の推移(最近5年分) ※分配金は税引前の金額。

決算日	分配金
2013/4/15	160円
2014/4/15	180円
2015/4/15	230円
2016/4/15	150円
2017/4/17	110円
設定来合計	1,510円

基準価額およびベンチマークの騰落率

	当ファンド	ベンチマーク
1カ月	1.7%	1.0%
3カ月	3.1%	3.9%
6カ月	5.6%	7.4%
1年	6.7%	9.2%
3年	3.7%	6.6%
5年	48.0%	62.5%
設定来	30.6%	45.3%

- ・当ファンドはマザーファンドを通して運用を行っております。
- ・比率および構成比は、マザーファンドの比率および構成比を当ファンドベースに換算した実質比率です。
- ・当ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
- ・基準価額は、当ファンドの信託報酬控除後の価額です。
- ・当ファンドでは、シティ世界国債インデックス(除く日本、7~10年、円ベース)をベンチマークとします。
- ・ベンチマークとは、ファンドの運用成果を評価するにあたって評価基準、比較対象となる指標をいいます。
- ・シティ世界国債インデックス(除く日本、7~10年、円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。同機関は、同指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利を有しております。同機関は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。
- ・分配金は1万口当たりです。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。

2017年8月31日現在

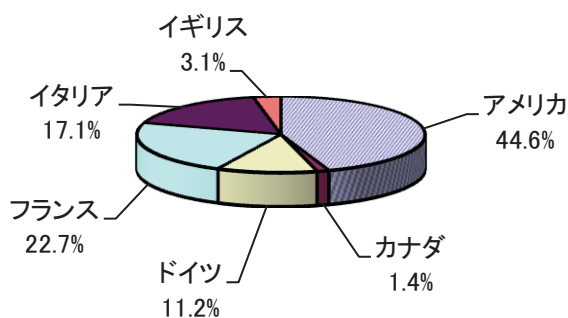
ポートフォリオの状況

	海外国債マザーファンド	ベンチマーク
デュレーション(年)	7.40	7.68
最終利回り(%)	1.33	1.45
平均クーポン(%)	1.99	2.33
平均残存年数	8.06	8.48

- ・ベンチマーク:シティ世界国債インデックス(除く日本、7~10年、円ベース)
- ・海外国債マザーファンドの最終利回りは、キャッシュを含めたものです。同最終利回りは、投資対象資産の特性を理解していただくために表示しており、当ファンドへの投資で得られる「期待利回り」を示すものではありません。

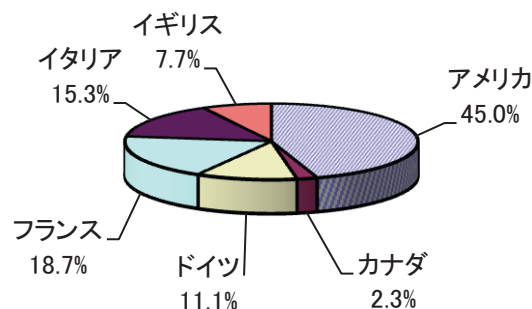
債券組入比率

海外国債マザーファンド



- ・組入債券全体を100%とした比率です。
- ・比率は小数第2位を四捨五入した数字で合計が100%とならない場合があります。

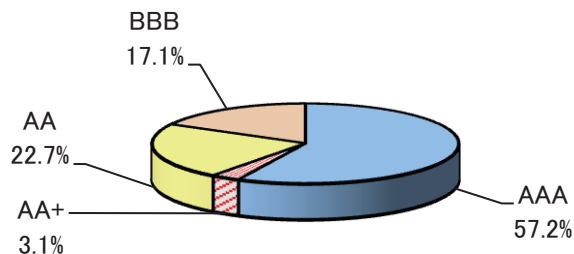
ベンチマーク



- ・シティ世界国債インデックス(除く日本、7~10年、円ベース)の対象国のうち、上記グラフでは当ファンドの投資対象国である6カ国を100%として算出しています。
- ・上記の数字は各国毎に小数第2位を四捨五入しておりますので、合計が100%とならない場合があります。

債券の信用格付け別構成比

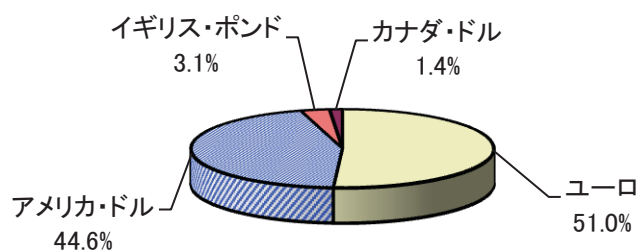
海外国債マザーファンド



- ・組入債券全体を100%とした比率です。
- ・比率は小数第2位を四捨五入した数字で合計が100%とならない場合があります。
- ・信用格付けはムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、S&Pグローバル・レーティングを参考に記載しています。

債券の通貨別比率

海外国債マザーファンド



- ・組入債券全体を100%とした比率です。
- ・比率は小数第2位を四捨五入した数字で合計が100%とならない場合があります。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

2017年8月31日現在

マーケットの推移

金利(利回り)		2017/8/31	利回りの推移	
			2017/7/31 1カ月前	2008/9/30 設定日
アメリカ	5年国債	1.70%	1.84%	2.98%
	10年国債	2.12%	2.29%	3.82%
ユーロ (ドイツ)	5年国債	△0.34%	△0.18%	3.77%
	10年国債	0.36%	0.54%	4.02%
イギリス	5年国債	0.44%	0.59%	4.20%
	10年国債	1.03%	1.23%	4.45%
カナダ	5年国債	1.53%	1.65%	3.16%
	10年国債	1.85%	2.06%	3.76%
為替(対円レート)		2017/8/31	為替レートの推移	
			2017/7/31 1カ月前	2008/9/30 設定日
米ドル	(¥/\$)	110.42	110.35	103.57
ユーロ	(¥/EUR)	131.34	129.65	149.05
英ポンド	(¥/£)	142.68	144.94	187.15
カナダドル	(¥/CAD)	87.42	88.46	98.75

- ・為替: 三菱東京UFJ銀行(対顧客直物電信売買相場仲値)発表の数字。
- ・金利: 各種データを基にアセットマネジメントOne作成。小数第3位を四捨五入。
- ・数値は変更となる場合があります。

基準価額の要因分析

設定来(2008年9月30日 ~ 2017年8月31日)

単位:円

	アメリカ	カナダ	ドイツ	フランス	イタリア	イギリス	合計
キャピタル	228	73	406	442	385	234	1,768
インカム	918	101	431	466	390	249	2,555
為替	522	△46	△57	△143	△693	△266	△683
小計	1,668	128	779	765	82	217	3,639
信託報酬等							△920
分配金							△1,510
合計							1,209

直近1か月間(2017年8月1日 ~ 2017年8月31日)

単位:円

	アメリカ	カナダ	ドイツ	フランス	イタリア	イギリス	合計
キャピタル	54	2	11	21	17	4	109
インカム	8	0	2	4	3	1	18
為替	2	△2	16	32	24	△5	67
小計	64	0	29	57	44	△1	194
信託報酬等							△10
分配金							0
合計							184

- ・キャピタルとは、金利変動の影響による債券価格の値上がり値下がり(以上:評価損益で、実際の売買は行わなくても日々時価で評価しています)と、売買損益の合計です。
- ・インカムとは、利子(経過利息を含む)などから得られる収益です。
- ・収益要因の計算は「簡便法」により行っておりますので、実際の数値とは異なるケースがあります。したがって、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。
- ・表中の金額は小数第1位を四捨五入して求めたものであり、各項目の合計と小計欄または合計欄の数値が一致しない場合があります。

2017年8月31日現在

ファンドマネージャー コメント

・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

運用経過

《市況動向》

(北米圏)米国10年国債利回りは、市場予想を下回る経済指標の発表や、トランプ大統領の強硬姿勢により連邦債務の上限引き上げなどの重要課題の審議が難航するとの見方が強まったことから、低下傾向で推移しました。北朝鮮に関する地政学リスクの高まりも低下要因となりました。カナダ10年国債利回りは米国10年国債利回りに概ね連動しました。

(欧州圏)ドイツとフランスの10年国債利回りは、BOE(英国中央銀行)がハト派的な姿勢を示し欧州圏の国債が全般的に買われたことや、北朝鮮に関する地政学リスクの高まりにより低下しました。イタリア10年国債利回りは、上旬はドイツ10年国債利回りに連動して低下しましたが、中旬以降は地政学リスクなどによりリスク回避の動きが強まったことや、国債入札に対する警戒感などにより上昇する局面もあり、1ヵ月を通じてみると小幅の低下に留まりました。英国10年国債利回りは、BOEの金融政策委員会で前回より少ない反対者数で現状の政策金利が維持されたことや、経済成長見通しが下方修正されたことなどにより、低下しました。

(為 替)米ドル/円相場は、米国の政権運営に対する懸念や米国の追加利上げペースがより緩やかになるとの見方、地政学リスクの高まりなどにより、米ドル安円高となりました。しかし、月末にかけては、米国の雇用統計が堅調になるとの期待などにより米ドル高に転じ、1ヵ月を通じてみるとレンジ内の動きに留まりました。ユーロ/米ドル相場は、米国ジャクソンホールでの講演でECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁がユーロ高を牽制する発言をしなかったことなどにより、ユーロ高米ドル安となりました。こうした中、ユーロ/円相場はユーロ高円安となりました。

《運用経過》

○マザーファンドを高位に組み入れ、実質債券組入比率を高位に保ちました。マザーファンドの運用については、デュレーション(ファンドの金利変動に対する感応度)は地政学リスクなどによるリスク回避的な金利低下は一時的との見方から、ベンチマークに対してやや短期化しました。通貨配分はベンチマーク中の投資対象6カ国を100%とした配分に対して、ユーロをややオーバーウエイト、米ドルと英ポンドをややアンダーウエイトしている現状の配分を維持しました。

今後の運用方針

《市況見通し》

(北米圏)米国経済は、個人消費や住宅投資を中心に景気回復基調を維持していると見ています。金融政策についても、FRB(米国連邦準備制度理事会)はバランスシートの縮小と利上げを緩やかなペースで実施する方針を維持しています。しかし、賃金の伸びが高まらずインフレ期待も低水準で推移していることや、トランプ大統領の政権運営に対する懸念が高まっていることなどにより、米国10年国債利回りは当面レンジ内で推移すると想定しています。

(欧州圏)ユーロ圏経済は景気回復基調が強まってきており、インフレ率も持ち直してきています。ドイツ10年国債利回りは、景気や物価が堅調に推移していることや、量的緩和政策の縮小観測などにより上昇圧力のかかる展開と想定しています。周辺国国債については、ECBの金融政策に対する思惑などにより、利回りの変動が大きくなることも考えられます。

(為 替)米ドル/円相場は、米国では緩やかなペースでの利上げが想定されるものの、インフレ率が高まっていないことやトランプ政権の経済政策に対する期待の剥落などにより、レンジ内の動きに留まると見ています。ユーロ/米ドル相場は、ユーロ圏の景気とインフレ率の持ち直しや、政治リスクの後退から底堅く推移すると想定していますが、金融政策への思惑などにより変動が大きくなることも考えられます。

《運用方針》

○マザーファンドを高位に組み入れ、実質債券組入比率を高位に保ちます。

○マザーファンドの運用については、

- ①デュレーションは、現状の水準を基本としつつ、投資対象国の金融政策や財政政策などを勘案して機動的な対応を行う方針です。
- ②通貨配分は、現状の配分を維持する方針です。
- ③投資対象国である米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、英国の政府が発行する国債に投資します。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取り扱いについてのご注意」をよくお読みください。

- 当ファンドは、主として海外の公社債にマザーファンドを通じて、または直接投資します。投資対象とする公社債の値動きや信用状況の変化、為替相場の変動などの影響により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。
- 購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

1. **主として海外国債マザーファンドを通じて、アメリカ、イタリア、ドイツ、フランス、イギリスそしてカナダの6カ国が発行する国債と政府機関債(国債と同等の格付けを持つもの)を中心に分散投資を行います。**
 - ◆当ファンドの運用は「ファミリーファンド方式」で行います。
 - ◆「シティ世界国債インデックス(除く日本、7~10年、円ベース)※」をベンチマークとして、インデックスを上回る投資成果を目指す運用を行います。
 - ※日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを、各市場の時価総額で加重平均して指数化したもので、Citigroup Index LLCが開発した指数です。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産です。同社は、各指数の算出、公表、利用など各指数に関する一切の権利を有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。
 - ◆主要投資対象は、海外国債マザーファンドならびにシティ世界国債インデックスに含まれる国(日本を除く)に所在する政府、政府関係機関、国際機関、法人およびその他事業体が発行する当該インデックスに含まれる通貨建ての国債、政府機関債、国際機関債、短期金融商品とします。
 - ◆公社債の実質組入比率については原則として高位を保ちますが、投資環境が大きく変動するような場合、このような運用ができないことがあります。
 - ◆外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
2. **主要先進6カ国の高格付債券へ分散投資することで、さまざまなリスクの分散・抑制に努めます。**
 - ◆特定の通貨や国に集中せず、分散して投資を行うことで、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「信用リスク」などの抑制を図ります。
3. **原則として、年1回(毎年4月15日。休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。**
 - ◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
 - ◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

主な投資リスクと費用（くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

●為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

●金利変動リスク

公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

●信用リスク

公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落します。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

●カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

●流動性リスク

有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

◆収益分配金に関する留意事項◆

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みを取り消す場合があります。
信託期間	2023年4月17日まで(2008年9月30日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権の総口数が10億口を下回った場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年4月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。
スイッチング	当ファンドと販売会社が定める特定のファンドとの間において乗り換え(スイッチング)優遇ができる場合があります。スイッチングの際には、換金時と同様の費用、税金がかかります。スイッチングの取扱いの有無などは、販売会社により異なりますので、詳しくは販売会社でご確認ください。 ※スイッチングの方法などは、購入および換金の場合と同様になります。また、購入時手数料は販売会社が別途定めます。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

●投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 2.16%(税抜2.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

●投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.026%(税抜0.95%) ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 監査費用は毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「投資信託ご購入の注意」、「当資料のお取扱いについてのご注意」をよくお読みください。

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取り扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みの際は、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
 [ファンドの運用の指図を行う者]
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

<受託会社>三井住友信託銀行株式会社
 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

<販売会社>販売会社一覧をご覧ください

◆委託会社の照会先 ◆

アセットマネジメントOne株式会社
 コールセンター 0120-104-694
 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

販売会社一覧(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
いちよし証券株式会社 (新規買い付けのお申し込みは停止しております)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号	日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大山日ノ丸証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	日本証券業協会
三豊証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第7号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	日本証券業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)